

## 第1学年 総合的な学習の時間 学習指導案

草津市立松原中学校 教頭 辻 大吾

### 1 単元名 持続可能な産業にしよう ～草津市特産の農産物「ベジクサ」～

#### 2 単元の目標

- 地域人材や地域資源を通して、地域の魅力について知識を獲得し、その内容をより多くの人に伝えることができるようレポートにまとめることができる。(知識・技能)
- 地域の方のお話や自分で調べたことをもとに課題を見だし、より多くの人に地域を知ってもらうための方策を考えたり、考えたことを多くの人に伝えたりすることができる。(思考・判断・表現)
- より多くの人に自分の地域を知ってもらいたいという目的意識をもち、解決する方法を見つけるうえで、他者と協働したり、他者の意見や考えを受け入れたり、反論したりすることができる。(主体的に学習に取り組む態度)

#### 3 単元について

##### (1) 教材観

草津市は、肥沃な土地で作られる近江米の産地であるが、温暖な気候と豊かな水、また近畿最大級のビニールハウス群もあることから、施設野菜の一大産地になっている。琵琶湖周辺の豊かな自然環境を活かして栽培された草津市産の野菜や米などの農産物(例:「草津メロン」「愛彩菜(ワサビ菜)」「琵琶湖元気アスパラ」「琵琶湖からすま蓮根」「山田ねずみ大根」等)を「ベジクサ」と名付け、草津ブランドとして取り扱っている。本校は、豊かに広がる農園地を校区に持っており、農業がたいへん盛んな地域にあり、多くの農家で「ベジクサ」を栽培されている。

そこで本単元では、この「ベジクサ」に注目をし、多くの地域の方々との交流を通して、地元の特徴、実態を把握したり、これからの活動に具体性を持たせたりすることが期待できる。また、地域の方々とのコミュニケーションを通して、人とのつながりの大切さ、温かみを感じることができるとともに、コミュニケーションスキル、ソーシャルスキルの向上を図ることができる。

本単元は、地元を誇りを持ち、地元愛の醸成を図るとともに、これからの人格形成において自己のアイデンティティ確立の糧にできるというよさがある。

##### (2) 生徒観

本学年の生徒は、今年度前期にESDの取組「松原未来学習」において「食品ロス」をテーマとして学習に取り組んできており、その中で給食の残食に注目して「どうしたら給食の残食を減らすことができるのか」の問いについて、「フードロス」を考える大学生サークルの方々との交流を行ってきた。ここで他者と意見交流すること、コミュニケーションをとることの素地をつけてきており、グローバルな視野で物事を考え、自分の意見を出し合う活動に意欲をもって取り組むことができている。

今回、地域の農作物「ベジクサ」を草津ブランドとして広めていくためにはどうしたらいいかについて、地域の方々との交流の機会をもちながら学習を深めることで、農業に関心を持つとともに郷土を誇り持てるようにし、地域で自分にできることを協働的に考え、行動力・実践力を付けていくために、本単元を学習する意義は大きいと考える。

##### (3) 指導観

本単元の指導にあたっては、まず生徒たちに「草津市の自慢できること、有名なもの」について思い思いにキーワードを出させ、そこから校区に広がる豊かな農園地に着目させる。そして「ベジクサ」というキーワードを提示し、「ベジクサ」を調べることで、たくさん種類の農産物があり、自分たちが家庭の食卓や給食でよく食べている野菜や果物であるということを知る。そして、各家庭で「ベジクサ」の知名度、「ベジクサ」の種類についてインタビューを行わせ、まだまだ広く知られていないことに気付かせる。

次に、実際に「ベジクサ」を栽培されている農家の方をゲストティーチャーとして招き、農業を生業とすることへの熱い思い、苦勞することや充実感・達成感、引き継ぎ手の問題などについてのお話を聞くことで、自分たちが生まれ育った地域のことに注目させ、「どうしたら『ベジクサ』について、多くの人に広く知ってもらえることができるか」という問いを持たせるようにする。

グループワークとして、「ベジクサ」について調べたことをポスターにまとめ、発表の準備を行う。ポスターにはイラストやアピールポイント等、見た人が注目するようなポップアートデザインとしての工夫が施せるよう、美術科の授業と連携し、教科横断的に教育活動を実施できるようにする。

そして、講師として来ていただいた「ベジクサ」栽培農家の方をはじめ、地元農家、販売業者、加工流通業者等、「ベジクサ」にかかわる地域の方々や保護者の方々に来校していただき、体育館でポスターセッション大会を実施し、生徒たちが「ベジクサ」について、その魅力を自分の言葉で発信できるようにする。

最終、生徒たちが作成したポスターは、成果物としてまちづくりセンター、市役所、販売店等に掲示してもらい、そこを訪れる人たちがポスターに注目することで、自分たちの取組が「ベジクサ」ブランドを盛り上げるために貢献しているということへの達成感を持たせ、これからも自分たちの故郷「草津市」に誇りを持つとともに、引き続き、地域の魅力発信への活動につなげていけるようにする。

#### (4) ESDとの関連

##### ・ 本学習で働かせるESDの視点（見方・考え方）

相互性…日本の素晴らしい文化の一つともいえる農業が途絶えていくことがないよう、次世代に引き継いでいく必要があるということ。

公平性…豊かに広がる肥沃な土地を活用して、校区内の多くの家庭で農業が営まれている。若い世代に伝えることでこれまで農業に取り組んでこられた方々が次の世代に伝えるという活躍の場ができ、生徒はそういう方々と交流することで、新たな学びの場となるということ。

連携性…地域の課題を見つけ、自分にできることについて考え、行動していくためには、地域の方々と連携していくことが大切であるということ。

##### ・ 本学習を通して育てたいESDの資質・能力

未来像を予測して計画を立てる力

「ベジクサ」の知名度を調査し、その結果をもとに今後より多くの人に知ってもらい、消費してもらうための取組を計画する。

コミュニケーションを行う力

地域で農業に携わる方々から栽培にかかる苦勞話しややりがいについて話を聞いたり、自分たちにできることについて意見交流したりすることを通して、自分たちの考えを構築する。

つながりを尊重する態度

地域で農業に携わる方、農産物を販売する方、農産物の流通に携わる方などとの関わりを通して、様々な人とのつながりが学びを充実させていることを自覚するとともに、尊重しようとする。

進んで参加する態度

「ベジクサ」の知名度をあげるために自分たちにできることはないかと考え、意欲的に関わりを持つようしたり、考えを構築したりして、地域社会に貢献しようとする。

##### ・ 本学習で変容を促すESDの価値観

世代間の公正

自分たちの世代にとどまらず、将来の世代にわたって引き継がれていく考えであり、技術であることが大切である。

幸福感に敏感になる。幸福感を重視する。

自分たちの世代だけが幸せであることが、将来社会全体の幸せにつながるとは限らない。

・達成が期待されるSDGs

- 1 1 住み続けられるまちづくりを
- 1 2 つくる責任、つかう責任

4 単元の評価規準

(ア)知識及び技能	(イ)思考力・判断力・表現力等	(ウ)主体的に学習に取り組む態度
<p>①草津の農産物「ベジクサ」について、種類や栽培時期等についての知識について理解している。</p> <p>②学んだり、調べたりして獲得した知識を、言葉や図、絵等を用いて、それらを関係づけながらまとめる技能を身につけている。</p>	<p>①資料をもとに課題を見だし、「ベジクサ」の知名度をあげるための方策を考えることができる。</p> <p>②「ベジクサ」について学んだことや考えたことをもとに、アピールしたい内容をポスター等にまとめることができる。</p>	<p>① 広く多くの人に「ベジクサ」を知ってもらいたいという目的意識を持ち、意欲的に活動に参加しようとしている。</p> <p>②農業従事者の方々との交流を通して、栽培への苦労ややりがいに触れ、知名度をあげるために自分たちにできることを模索しようとしている。</p> <p>③「ベジクサ」について学んだことを多くの人に知ってもらえるように発信しようとしている。</p>

5 単元の指導計画（全13時間）

学習活動	○学習への支援	評価・備考
<p>1 「草津市の自慢できること、有名なもの」についてアイデアを出し、その中から「ベジクサ」に注目し今後の活動の見通しをつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・草津メロンが「ベジクサ」の一つである。</li> <li>・「ベジクサ」の知名度が草津市の中でも低い。</li> <li>・「ベジクサ」にはたくさんの種類の農産物があり、自分たちが身近に食しているものだ。</li> </ul>	<p>○各家庭で「ベジクサ」の知名度についてインタビューを実施し、名前は知っているが、どんな農産物があるかあまり知られていないことに気づく。</p> <p>○統計書をもとに、草津市の農業経営の実態等について、その現状を提示して、後継者問題がこれからの課題であることに気づかせる。</p>	<p>イ① (思判評)</p>
<p>2 地元で「ベジクサ」の栽培に携わられている方から話を聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・消費者に安心安全に消費してもらえよう、除草作業や害虫駆除等、畑における毎日の観察が大切であり、とても丁寧かつ繊細な作業が求められる。</li> <li>・この地に「ベジクサ」を栽培するようになったのは土壌の豊かさがあるから。</li> <li>・出荷を楽しみにされている消費者の方がいらっしゃる。もっと多</li> </ul>	<p>○「ベジクサ」の生産者の話から、その苦労ややりがいについて話を聞き、「ベジクサ」をより身近なものに感じさせる。</p> <p>○草津市にゆかりがあり、現在、草津市を応援されている「草津プースターズ」の方にも来校していただき、ベジクサをテーマにした歌を披露してもらうことで、「ベジクサ」を広げる活動として、自分たちにもできることはないか、アイデアを巡らせる。</p>	<p>イ① (思判評)</p>

<p>くの人に「ベジクサ」の良さを知ってもらいたい。</p> <p>3 「ベジクサ」の中から農産物の一つ選び各班で調べ学習に取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・どんな栄養素が含まれているか。</li> <li>・栽培の時期はいつごろか。</li> <li>・どんな料理方法が美味しく食べられる方法か。</li> <li>・「ベジクサ」の歴史について。</li> </ul> <p>4 「ベジクサ」のよさを紹介するポスターおよびポップアート作りに取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・より多くの人に「ベジクサ」のよさを知ってもらえるための工夫を凝らしたイラストやキーワードを強調して表現しよう。</li> </ul>	<p>○調べれば調べるほど、多くの情報が見つかり、「ベジクサ」の農産物の素晴らしさに気付かせる。</p> <p>○調べたこと全てをポスター、ポップアートに書き込むのではなく、一つ二つに絞って、自分たちがもっとも伝えたいことを強調できるように支援する。</p>	<p>ア① (知・技)</p> <p>イ② (思判評)</p>
<p>5 作成したポスターを活用して、各クラス、各班でプレゼンテーション活動に取り組み、「ベジクサ」の良さを発信する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・どのような発表が聞き手の興味関心を引くものになるか考えてみよう。</li> <li>・紹介する「ベジクサ」農産物の良さ、魅力を伝えるための工夫はどんなのかな。</li> </ul> <p>6. 地元ベジクサ生産者の方々をはじめ、JA職員、ベジクサ販売業者地域関係者をゲストとして招待して、体育館で学年ポスターセッション大会を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発表後に地域の方々からの質問に対して、自分の考えやアイデアをうまく伝えられるかな。</li> <li>・ゲストの方からの意見として出された後継者問題について、自分の考えを明確に伝えるように頑張ってみよう。</li> </ul> <p>7. 活動の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作成したポップアートを、近隣のベジクサ販売店に持っていき、商品とともに陳列してもらおうよう依頼する。</li> <li>・引き続き、「ベジクサ」に関連する取組をしていきたいな。</li> </ul>	<p>○発表するのに際し、聞き手に伝わるようにするために大切なことはどのようなことか、各班で考えさせ、繰り返し練習をさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・声量</li> <li>・ジェスチャー</li> <li>・抑揚</li> <li>・指さし</li> <li>・目線 など</li> </ul> <p>○各クラス、各班でブースを作り、ゲストに自由に回っていただく。その中でゲストには、事前にいろいろと発表者に質問をしてもらうようお願いしておき、生徒とゲストの「やり取り」の時間を作り、即興的に発表者がゲストとコミュニケーションをとれるようにし相手意識を持たせる。</p> <p>○農業関係者をはじめ地元の方々の思いやを生の声として聴き、これから自分たちにできることはどのようなことかを想起させる。</p> <p>○ベジクサ販売店に設置したポップアートが購買促進の役に立っていることを、従業員から話で知り、ポスターセッションをはじめ、自ら発信することの大切さに気付かせる。</p> <p>○今後の活動へと連続発展させていくために、次年度からの「松原ファーム」取組へとつなげていく。</p>	<p>ウ① (主体的)</p> <p>ア①② (知・技)</p> <p>ウ② (主体的)</p> <p>ウ③ (主体的)</p>

